様式第３号

事務事業評価表（令和 3年度）

事業コード	699	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業	幹線道路の整備・改良	実施計画への位置づけ	●有　○無
		個別事業	手賀沼公園・久寺家線の整備	②部課名	建設部・道路課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	■我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　□全市
	⑤事業期間	令和 2年度　～　令和 3年度		⑥担当職員数	5 人　（換算人数　1.1 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	2,100,000 千円	当該(開始)年度	（当　初）147,506 千円　（うち人件費　9,790 千円） （変更後）千円　（うち人件費　千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし
		基本計画地区別計画への位置づけ	●有　○無	部門別計画への位置づけ	（計画名）都市計画マスタープラン
(2)目的	施策目的・展開方向	中心拠点活性化の観点から、現在整備を進めている都市計画道路３・４・１４号手賀沼公園・久寺家線の整備を完了させるとともに、３・５・１５号根戸新田・布佐下線の整備に合わせて、３・４・９号下ヶ戸・中里線と３・４・１０号青山・日秀線の整備を進めます。また、事故多発箇所や渋滞箇所については、安全施		事業目的	我孫子地区中心拠点へアクセスする路線として、国道６号から根戸新田・布佐下線へ南北をつなぐ幹線道路を整備し、自動車の交通導線を公園坂通りから本路線へ移行、安全で利用しやすい道路づくりを目指す。
(3)事業内容	内　容	我孫子都市計画道路事業は、我孫子地区内を円滑に移動できる道路網を整備するため、国道６号から根戸新田・布佐下線間全長１，２７０ｍのうち未整備区間の延長５２０ｍ（幅員：一般部１６ｍ・交差部１９ｍ）の新設をする。		当該年度執行計画	○　４月～３月　都市計画道路整備工事
				当該年度活動結果指標	整備進捗率　単位：% 想定値 100 実績値

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	整備を完了する。	直接	整備進捗率（工事進捗率）	%	81	100
令和 4年度		－				0
令和 5年度		－				0
(7)事業実施上の課題と対応	早期の供用開始に向けて整備工事を進める。	代替案検討	○有　●無			

(8)施行事項	令和 2年度 内容	金額(千円)	令和 3年度 内容	予算額(千円)	決算額(千円)	令和 4年度 内容	金額(千円)	令和 5年度 内容	金額(千円)
実施内容 費　用			＊ 境界杭復元手数料 警察協議 〔工事〕千葉県警察 信号機移設、横断歩道・標識設置 ＊ 案内標識設置（起債対象） ＊ 区画線整備費（起債対象） 〔工事〕（手賀沼公園側） ＊ 道路工事費（継続2年目）（起債対象） 〔工事〕（国道３５６号側交差点部） ＊ 道路改良工事費（起債対象） 〔工事〕 ＊ 道路修繕工事（舗装打換・植栽） ＊ 取付道路改修工事（起債対象） ＊ 仮設土留工事	1,150 8,591 4,223 77,820 30,952 7,768 5,239 1,973					
予算(決算)額	合　計	0	合　計	137,716		合　計	0	合　計	0
(9)財源内訳 国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 0 %	0	充当率 90 %	114,100		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		0		23,616			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)		0		1.1			0		0
正職員人件費		0		9,790			0		0
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)		0		147,506			0		0
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	0千円／＊＊		1,475.06千円／%						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目	事　前　評　価	事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））	改善検討
必要性 (1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子駅から手賀沼公園へ向かう公園坂通りの自動車交通動線を本路線に分散し、安全で快適な交通空間を確保する必要がある。	○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞	○要 ○不要
必要性 (2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ＜その他の内容＞ ○②自治体である市が推進すべきである （理由）□市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 ＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 ＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞ ＜その他の内容＞	○要 ○不要
参加・協働の工夫 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容： ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 工夫の具体的な内容： ＜その他の内容＞ 該当なし	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）： 参加・協働の程度・内容： ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点： □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 取組む内容： ・近隣の手賀沼公園の景観に配慮した樹種による街路樹整備 ・透水性ブロックによる歩道舗装整備によりヒートアイランド現象を緩和する ＜その他の内容＞	実施した具体的な内容： 環境への配慮： ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性 (1)目標設定は適切か？	現況値(a)(%)：81 目標値(b)(%)：100 目標値の妥当性のチェック： □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である	達成状況：実績値(f)(%)： 達成率(%)(f/b×100)： ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞	○要 ○不要
効率性 (2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減： 事業費(c)(千円)：147,506 事業費削減額(d)(千円)：△147,506 事業費削減率(%)：0 実施予定の対策： □①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　■⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞	実施状況：実績値(g)(千円)： 対事業費(%)(g/c)×100： ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞ 事業費の削減対策について： ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
効率性 (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：0.07 単位：% 費用単位：10万円 計算方法： ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費	達成状況：実績値(h)： 対目標値(%)(h/e)×100： ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向